

# 一 般 質 問 通 告 書

平成30年第4回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
1	高 田 豊 繁	1 災害ごみの処理対策について	(1) 台風等で大量に発生した災害ごみを円滑に処理できるよう、「災害ごみ処理規程」等を制定し、行政と民間が相互に連携したごみ処理対策を講じる考えはないか。 (2) 不燃物ゴミ類等については、有料も検討しつつ島外への搬出を行う考えはないか。	町 長  町 長
		2 与論クリーンセンター美ら島の臭気対策について	(1) 与論クリーンセンター美ら島の周辺住民から風向きによって異臭があり生活に支障を来しているとの指摘があるが、同施設の機械設備や処理工程に臭気対策機能は整備されているか。	町 長
		3 畜産排泄物(し尿)の環境影響対策について	(1) 近年、畜産振興の発展に伴い畜産排泄物の悪影響が懸念されている。自然環境や住環境に悪影響が及ばないように、効果的な対策事業の導入や畜産農家への助成措置等が行える町・民連携による畜産排泄物(し尿)環境対策事業(仮称)の推進を図る考えはないか。	町 長
		4 役場新庁舎造成に伴う地表排水の下流域への影響について	(1) 役場新庁舎関連施設造成に伴う地表排水の増大による下流域農地の災害対策について、どのように考えているか。	町 長
2	沖 野 一 雄	1 台風24号被災に係る「局地激甚被害指定」について	(1) 去る9月末に本町を襲った台風24号は、奄美群島を北上し県本土に上陸、更に西日本から東北地方を縦断する形で全国に甚大な被害をもたらした。このため、国は過日被害の大きかった自治体を「局地激甚災害」に指定すると発表、県内では伊仙町のみが指定を受ける見込みとのことである。本町の被災状況は、伊仙町と比べて軽度であったとは考え難いが、本町が指定を受けられなかったことについて、町長はどのように認識し、今後の対応策についてどう考えているか。	町 長
		2 台風時における老朽空き家等の飛散対策について	(1) いわゆるスーパー台風等の襲来が一層懸念される中で、管理人不在の老朽空き家や暴風対策が不十分な非住家等の飛散防止対策を加速する必要があると考えるが、町長は実態をどのように認識し、具体的対策をどう進め	町 長

# 一 般 質 問 通 告 書

平成30年第4回定例会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
			る考えであるか。	
		3 水道水の水質管理及び町民への啓発について	<p>(1) 町の水道水については、水道法に定める水質基準を遵守して適正な供給がなされていると承知しているが、飲み水としての安全性及び健康面などで疑念或いは不安感を抱いている町民や来島者等が少なくない。</p> <p>広報誌や町ホームページ等の積極的な活用、説明機会の拡大などにより、しっかりとした啓発活動を行って町民等の不安感を払拭する必要があると痛感するが、町長は現状をどのように認識し、今後の取組についてどう考えているか。</p>	町 長
3	林 敏 治	1 生活物資等の輸送コスト軽減化について	(1) 政府は来年10月から消費税率を8パーセントから10パーセントへ引き上げる方針を固めている。本町においては、ガソリンの値上げや離島航路フェリー各社も輸送運賃の値上げを予定しており、住民生活に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる。生活物資等の海上輸送コスト軽減化について、今後、国や県等の関係機関に強く要請する考えはないか。	町 長
		2 大規模災害に備えた合同訓練の実施について	(1) 近年、大型台風や大地震、津波など自然災害が全国各地で発生しており多くの被害をもたらしている。本町は平坦な地形であり自然災害の影響を受けやすいため、今後、大型台風や南海トラフ巨大地震等による津波などの大災害が想定される。自衛隊、消防団、警察、病院などの関係機関と連携を行い、大規模合同訓練を実施して、大規模災害に備えた危機管理体制の強化を図る必要があると痛感するが、町長はどのように認識し、訓練等の必要性についてどう考えているか。	町 長
		3 町有地の利用対策について	(1) 旧那間へき地診療所は老朽化し放置されているが、解体し撤去した後の町有地を活用し鹿児島大学与論活性化センターの研修・宿泊施設や公営住宅など住環境の整備を行う考えはないか。	町 長

# 一 般 質 問 通 告 書

平成30年第4回定例会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
4	遠 山 勝 也	1 人手不足解消のための対策について	(1) 政府は、人手不足に対処するため、新たな在留資格を設け、外国人労働者受け入れを拡大する方針を打ち出している。本町においても、農業や建設業、サービス業など人手不足が深刻化しており、外国人労働者の受け入れも必要ではとの声もあるが、町長はどのように認識し、どう対策を講じていく考えであるか。	町 長
		2 将来を見据えた教育現場での取組について	(1) 先日、鹿児島県内の高校生が県産食材を使った商品を開発する“地産地消”コンテストが開催され、本町の高校生が開発した惣菜が最優秀賞に選ばれた。農業・漁業に従事している町民にとっても明るい話題となっており、商品化が実現すれば後継者育成にも弾みがつくものと期待しているが、将来本町の農業や漁業を支える人材を育成するための教育現場での取組についてどう考えているか。	教 育 長
5	町 俊 策	1 茶花信号機付近の冠水対策及び新庁舎建設後の治水対策について	(1) 先般開催した議会報告会において、町民から大雨時における茶花信号機付近の冠水対策について質問があり、町が取り組んでいるウプインジュ水路の改修計画案や関係地主との交渉、近隣住民からの意見聴取等が予定されていることについて報告したが、進捗状況はどうなっているか。  また、新庁舎建設後の治水対策も大きな課題であることから、関係する課が一体となって「プロジェクトチーム」をつくり対処するとの事であったがどうなっているか。	町 長
6	大 田 英 勝	1 地域おこし協力隊の評価について	(1) 本町に男女2人の地域おこし協力隊員が赴任して3年目となった。地域おこし協力隊の活動期間は概ね1年以上3年以下となっており、早くも最終年度となった。本町の隊員は、シマンチュにない斬新な視点と感覚で、意欲的によく頑張っていると思うが、町としては2年8ヶ月の地域おこし協力隊の活動をどのように評価するか。	町 長

# 一 般 質 問 通 告 書

平成30年第4回定例会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
			(2) 地域おこし協力隊の制度は大変素晴らしい制度だと思う。来年度も新規に隊員を募集し、引き続き制度を活用すべきだと考えるが、町長はどう考えているか。	町 長
		2 大雨による農地の土砂流出等の対策について	(1) 先日の大雨では、城の堀建設付近の道路が水没し通行できないばかりか周辺の畑に水が流れ込み、土砂の流出があった。これは、個人レベルでは如何ともしがたいが、早急に対策を講じる考えはないか。 また、西区でも似たような土砂流出が発生していた。町内の他の地区にもそのような箇所があるかどうか調査して、対策を講じる考えはないか。	町 長
7	川 村 武 俊	1 防犯灯の設置について	(1) 小・中学校の生徒の通学路における防犯灯の設置要望が町民から寄せられているが、どのように考えているか。	町 長
		2 小・中学校の安全対策やクーラーの設置について	(1) 先日、国会で平成30年度一般会計補正予算9356億円が全会一致で成立した。その中で「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」985億円が今後1年間の時限支援措置として創設されたが、この予算を活用して教育環境を整える考えはないか。	教 育 長
		3 農業振興について	(1) さとうきびの干ばつ対策として畑地かんがい用水の使用料の無料化を推進し、さとうきびの増産を図る考えはないか。	町 長